

お客様各位

2017年8月9日
北興化学工業株式会社

適用拡大のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
此の度、2017年8月9日付で下記農薬の適用が拡大登録されましたので、お知らせ致します。

記

以上

農薬名

第23517号 カチボシジャンゴ

適用拡大の内容

- ・ 作物名「直播水稻」を追加する。
- ・ 作物名「移植水稻」の適用雑草名に「シズイ」を追加する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバジンを含む農薬の総使用回数	テフリルトロンを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ <u>シズイ</u> ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ 2.5葉期 但し、 移植後30日 まで	小包装 (パック) 10個 (300g) /10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま投入 れる。	2回以内	2回以内	2回以内
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	湛水直播の 稲1葉期～ ノビエ2葉 期 但し、 収穫90日前 まで						

使用上の注意事項

【変更後】

- (1) 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきること。
- (2) 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの2.5葉期まで（直播栽培は2.0葉期まで）に時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、クログワイは発生前から発生始期まで、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。
オモダカ、クログワイ、シズイは発生の期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- (3) 苗の植え付けが均一となるように代かきを丁寧に行うこと。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行うこと。
- (4) 処理に当っては水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。
- (5) 本剤は小包装（パック）のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- (6) 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるので使用をさけること。
- (7) 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- (8) パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意すること。
- (9) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ① 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ② 軟弱な苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
 - ④ 散布後に高温傾向が続くと予想される時
- (10) 梅雨期等、散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- (11) 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- (12) 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- (13) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

※下線部が変更箇所

適用拡大後の製品情報の詳細はこちら（[農薬製品・安全データシート（SDS）一覧](#)）からご参照下さい。

以上